

【平成22年度 事業報告】

本連盟は寄付行為に掲げる目的を達成するために、以下の事業を実施した。

<競技の研究および指導に関する事業>

科学委員会を中心に日本グランプリシリーズ、大阪GP、日本選手権、沖縄インターハイ、北海道マラソン、スーパー陸上、アジア大会等において各種測定を中心とした研究活動を行った。活動の主なもの、平成23年8月発行予定の普及育成委員会と共同で出版する「陸上競技研究紀要 第7巻」に掲載する。

<講習会の開催および指導者の養成に関する事業>

講習会の開催に関する事業として、普及育成関係で昨年度より実施している「JAAFアスリート発掘育成プロジェクトクリニック事業」を28会場で開催した。また新たにU15世代の優秀選手を集めた「U15トップトレーニングキャンプ」を開催した。指導者育成関係で、「全国小学生陸上競技指導者中央研修会」（埼玉・広島会場）、「公認コーチ養成講習会」、「第11回JAAFコーチングクリニック」、「U-15指導者講習会」、「国際陸上競技連盟認定CECSレベルIコーチコース講習会」などの講習会を行った。「U-15指導者講習会」は新たに開催地を公募して4会場で開催した。

<日本選手権などの競技会開催に関する事業>

総務委員会、競技運営委員会、法制委員会、国際委員会を中心として第94回日本陸上競技選手権大会を6月4日～6日、香川県立丸亀競技場にて開催した。また、主催競技会34大会を開催した。

<国際大会への派遣>

各国際大会に代表選手団を派遣した。

第16回アジア競技大会では、男子4×100mRにおいてはプサン大会、ドーハ大会と引き続き金メダルを逃し、女子長距離においても、アフリカ系の選手のみならず、インド勢の台頭により、苦戦を強いられたが、100mを44年ぶり、200mを28年ぶりに制した福島選手、日本選手団主将というプレッシャーの中で、自己記録で優勝を決めた村上選手、優勝を決めた後、最後の1投で日本記録を更新した海老原選手と、来年の世界選手権につながるパフォーマンスを発揮した。

第13回世界ジュニア陸上競技選手権大会では、金メダル1、銀メダル2、銅メダル3を含む入賞16と、過去の世界ジュニア選手権大会の中でも最高の成績であった。

第1回ユースオリンピック競技大会では、予想以上の活躍を見せ、銀メダル4つを獲得した。

第19回世界ハーフマラソン選手権大会では、団体において女子はアフリカ勢に続く3位、男子は昨年の7位からアフリカ勢に続く4位と飛躍した。

第39回世界クロスカントリー大会では、女子ジュニア団体において、最後の1周で逆転し、銅メダルを獲得した。震災直後の派遣ということではあったが、国内外にスポーツマンとして元気な姿を発信できたことは大変意義があった。

上記のほかに、重点強化対策、一般強化対策としてアジア圏を含む国内外の各種トラック&フィールド、ロードレース等に有力選手を派遣し、成果を残した。

〔主要国際大会の結果〕

大会名	期 日	派遣数	主な成績
第16回アジア競技大会 中国・広州	11月21日～27日	男30名 女28名	金4、銀8、銅8
第13回世界ジュニア陸上競技選手権大会 カナダ・モンクトン	7月19日～25日	男20名 女17名	金1、銀2、銅3
第1回ユースオリンピック競技大会 シンガポール	8月13日～26日	男8名 女7名	銀4
第19回世界ハーフマラソン選手権大会 中国・南寧	10月16日	男5名 女5名	団体男子4位 団体女子4位
第39回世界クロスカントリー選手権大会 スペイン・プンタ ウンブリア	3月20日	男11名 女12名	団体女子ジュニア3位 団体男子ジュニア6位 団体女子シニア6位

＜競技規則および審判員に関すること＞

競技運営委員会で競技規則の検討と運用上の問題点について、定期的に検討しながら、主要主催大会のリハーサル大会の指導に委員を派遣した。また、全国レベル競技会の運営に関する実務者研修会（11月27日～28日）、全国JTO研修会（12月4日～5日）、トラブル事例での問題点を共有して、円滑な競技会運営に資するための全国競技運営責任者会議（2月12日～13日）を開催した。

＜施設および用器具に関すること＞

施設用器具委員会では、公正な競技会の開催に不可欠である、陸上競技場・長距離競走（歩）路の検定・審査作業を随時行い、定期的に委員会を開催し、検定・審査の効率的な取り組みと制度の確立について検討した。また、国際化に伴う情報収集、検討会議を開催し日本陸連としての取り扱いについて検討した。

また、検定員の養成および技能の向上のため全国検定員会議（11月6日～7日）を開催した。

＜日本記録の公認に関すること＞

競技運営委員会では記録の公認を行った。平成22年に達成された新記録は、日本記録10記録（10種目）、ジュニア日本記録6記録（5種目）であった。

＜機関紙および刊行物の発行に関すること＞

事務局では、本連盟の機関紙である陸連時報を編集、発行した。

また、本連盟の組織や活動内容を広く公開するイヤーズブック、および、第14回アジアジュニア陸上競技選手権大会、第13回世界ジュニア陸上競技選手権大会、第16回アジア競技大会（2010／広州）に向けての選手団ガイドブックを作成した。

陸上競技ルールブック2010年版を発行する。また、陸上競技ルールブック2010年版は電子化し、陸連ホームページにて公開した。

＜普及・振興を図る事業＞

トップアスリートが子どもたちにスポーツの楽しさを伝え、陸上競技への関心を喚起し、体力向上のきっかけを提供することを目的として「キッズアスリート・プロジェクト夢の

陸上キャラバン隊」も4期目をむかえ、群馬県、石川県、青森県、三重県、函館市、愛媛県、鳥取県、長崎（五島）、大分県、京都府の小学校10会場にて開催した。

<マーケティング活動（財政基盤の確立）に関すること>

財政基盤の確保のため、積極的にPR活動、折衝活動を行い、マーケティング活動を展開し、スポンサーや大会協賛金の獲得に関する事項を行った。

<医事活動に関すること>

医事委員会では、アンチ・ドーピング活動として、ドーピング検査を427件（競技会検査）、行った。「陸上競技者のためのドーピングコントロール便利帳2011」、「アンチ・違法薬物広報冊子2011」を発行し、都道府県陸上競技協会、強化競技者をはじめ全国へ配布した。

また、平成22年度、25の日本陸連主催・後援大会へNFR（ナショナルフェデレーションリプレゼンタティブ）を派遣した。

<その他の活動>

・環境活動に関すること

総務委員会では、主催大会の内、7大会、5事業へ委員を順次派遣しJAAFグリーンプロジェクト活動として、「植樹」「チャレンジ25会員募集」「募金活動」等、啓蒙と実践を展開した。

・会員の登録に関すること

平成22年度の登録会員数は、291,250人であった。平成23年度より登録手続きの省力化を目指して、web化するべくシステム開発を行った。

・加盟団体法人化に関すること

新たに7加盟団体が一般財団法人となり、11加盟団体が法人化した。

・加盟団体への会計システム導入に関すること

法人化に向けた、会計基盤の強化のため、希望する43加盟団体に対し、会計システムを寄付した。

以 上

貸借対照表総括表

平成23年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	JOC委託事業 特別会計	スポーツ振興事業 特別会計	体協委託事業 特別会計	スポーツ振興くじ 助成金事業 特別会計	競技強化支援 事業助成金 特別会計	収益事業特別会計	合 計
I 資産の部								
1. 流動資産								
現金預金	409,432,372	20,688,282	969,620	1,172,425	1,509,589	3,701,273	356,527,822	794,001,383
現 金	511,366	0	0	0	0	0	0	511,366
普通預金	392,655,746	20,688,282	969,620	1,172,425	1,509,589	3,701,273	354,345,025	775,041,960
外貨普通預金	5,876,010	0	0	0	0	0	0	5,876,010
振替通帳	10,389,250	0	0	0	0	0	0	10,389,250
未収収入	45,315,652	6,539,480	1,930,000	0	68,492,918	11,120,883	2,182,797	12,572,047
立戻金	114,718	21,700	0	0	0	0	0	136,418
仮払金	21,470,500	365,120	0	0	0	300,000	0	22,135,620
特別会計間振替勘定	0	0	0	0	0	0	3,861,160	3,861,160
貸倒引当金	493,911,220	△ 24,152,848	△ 2,899,620	△ 1,172,425	△ 69,725,553	△ 15,122,156	△ 380,838,618	0
貸倒引当金	△ 1,654,098	0	0	0	0	0	0	△ 1,654,098
流動資産合計	968,590,366	3,461,734	0	0	276,954	0	81,790,958	1,054,120,012
2. 固定資産								
(1) 基本財産								
基本財産引当預金	688,785,151	0	0	0	0	0	0	688,785,151
基本金引当有価証券	511,214,849	0	0	0	0	0	0	511,214,849
基本財産合計	1,200,000,000	0	0	0	0	0	0	1,200,000,000
(2) 特定資産								
主催事業等引当預金	102,806,662	0	0	0	0	0	0	102,806,662
退職給付引当預金	76,298,810	0	0	0	0	0	0	76,298,810
加算団体法人化引当預金	74,000,000	0	0	0	0	0	0	74,000,000
事務所移転等引当預金	250,000,000	0	0	0	0	0	0	250,000,000
アジア選手権引当預金	100,000,000	0	0	0	0	0	0	100,000,000
特定資産合計	603,105,472	0	0	0	0	0	0	603,105,472
(3) その他固定資産								
建物付属設備	1,420,720	0	0	0	0	0	0	1,420,720
什器備品	2,915,968	0	0	0	0	0	0	2,915,968
商標権	775,000	0	0	0	0	0	0	775,000
ソフトウェア	3,985,350	0	0	0	0	0	0	3,985,350
長期貸付金	1,881,600	0	0	0	0	0	0	1,881,600
その他固定資産合計	10,978,638	0	0	0	0	0	0	10,978,638
固定資産合計	1,814,084,110	0	0	0	0	0	0	1,814,084,110
資産合計	2,782,674,476	3,461,734	0	0	276,954	0	81,790,958	2,868,204,122
II 負債の部								
1. 流動負債								
未払金	21,357,892	3,459,512	0	0	256,900	0	54,763,235	79,837,539
預り金	1,901,555	2,222	0	0	20,054	0	11,766	1,935,597
仮受金	1,471,600	0	0	0	0	0	1,798,610	3,270,210
貸与引当金	8,896,200	0	0	0	0	0	0	8,896,200
未払法人税等	0	0	0	0	0	0	15,000,000	15,000,000
未払事業税	0	0	0	0	0	0	6,000,000	6,000,000
未払消費税等	0	0	0	0	0	0	4,217,347	4,217,347
流動負債合計	33,629,247	3,461,734	0	0	276,954	0	81,790,958	119,158,893
2. 固定負債								
退職給付引当金	76,298,810	0	0	0	0	0	0	76,298,810
固定負債合計	76,298,810	0	0	0	0	0	0	76,298,810
負債合計	109,928,057	3,461,734	0	0	276,954	0	81,790,958	195,457,703
III 正味財産の部								
1. 指定正味財産								
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	2,672,746,419	0	0	0	0	0	0	2,672,746,419
(うち基本財産への充当額)	(1,200,000,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1,200,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(526,806,662)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(526,806,662)
正味財産合計	2,672,746,419	0	0	0	0	0	0	2,672,746,419
負債及び正味財産合計	2,782,674,476	3,461,734	0	0	276,954	0	81,790,958	2,868,204,122

正味財産増減計算書総括表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	JOC委託事業 特別会計	スポーツ振興事業 特別会計	体育委託事業 特別会計	スポーツ振興くじ 助成金事業 特別会計	競技強化支援 事業助成金 特別会計	収益事業特別会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用収益	7,843,891	0	0	0	0	0	0	0	7,843,891
登録料受入収益	18,970,050	0	0	0	0	0	0	0	18,970,050
分担金受入収益	5,250,000	0	0	0	0	0	0	0	5,250,000
受取委託金・助成金	452,200,000	0	0	0	0	0	0	0	452,200,000
受取委託金・助成金	0	93,968,400	1,950,000	1,401,580	67,852,000	10,652,000	0	0	175,601,980
事業費	(124,678,201)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1,116,742,947)	(0)	(1,241,421,148)
受取協賛費	115,075,413	0	0	0	0	0	994,495,898	0	1,109,571,311
広告料収益	0	0	0	0	0	0	257,143	0	257,143
歩加料収益	3,285,122	0	0	0	0	0	12,282,554	0	15,570,676
入場料収益	0	0	0	0	0	0	29,535,432	0	29,535,432
プログラム売上収益	0	0	0	0	0	0	5,062,575	0	5,062,575
放送権料収益	5,000,000	0	0	0	0	0	57,979,601	0	62,979,601
受取助成金	1,228,950	0	0	0	0	0	5,455,690	0	6,684,640
販賣料収益	0	0	0	0	0	0	10,674,054	0	10,674,054
肖像権料収益	0	0	0	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000
その他の収益	85,716	0	0	0	0	0	0	0	85,716
その他の事業収益	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(61,310,924)	(0)	(61,310,924)
器具採定料収益	0	0	0	0	0	0	8,121,799	0	8,121,799
競技場公認料収益	0	0	0	0	0	0	22,575,000	0	22,575,000
ナンバーカード広告料収益	0	0	0	0	0	0	12,372,626	0	12,372,626
後援名義使用料収益	0	0	0	0	0	0	14,300,000	0	14,300,000
印刷料収益	0	0	0	0	0	0	1,714,731	0	1,714,731
販売手数料収益	0	0	0	0	0	0	226,768	0	226,768
陸上マガジン編集料収益	0	0	0	0	0	0	2,000,000	0	2,000,000
権	(7,726,187)	(25,598)	(1,278)	(312)	(2,235,167)	(2,307)	(8,874,412)	(0)	(18,865,261)
受取利息	275,341	25,598	1,278	312	11,167	2,307	121,951	0	437,954
繰上	7,450,846	0	0	0	2,224,000	0	8,752,461	0	18,427,307
他会計からの繰入額	0	66,646,485	3,281,041	0	2,832,946	8,719,245	0	△ 81,479,717	0
経常収益計	616,668,329	160,638,483	5,212,319	1,101,892	73,020,113	19,373,552	1,186,928,283	△ 81,479,717	1,981,463,254
(2) 経常費用									
事業費	(249,680,160)	(160,638,483)	(5,212,319)	(944,099)	(73,020,113)	(19,373,552)	(930,874,715)	(0)	(1,439,743,440)
旅費・交通費(国際)	15,415,940	55,239,259	0	0	167,400	12,995,885	37,917,095	0	131,735,579
旅費・交通費(国内)	93,423,057	82,648,104	780,639	166,135	16,247,493	4,615,982	160,442,958	0	348,324,368
誌	7,407,412	3,997,896	0	556,209	3,791,950	1,326,983	5,889,518	0	22,970,007
諸謝金(国際)	170,160	0	0	0	0	0	0	0	170,160
大学補助金	350,000	0	0	0	0	0	0	0	350,000
高校補助金	30,940,000	0	0	0	0	0	0	0	30,940,000
中学補助金	6,600,000	0	0	0	0	0	0	0	6,600,000
地域支援金	0	0	0	0	0	0	55,210,000	0	55,210,000
強	9,619,049	0	0	0	0	0	73,326,973	0	82,946,022
会場設置整備費	5,987,656	0	0	0	0	0	146,108,643	0	152,096,299
通	1,177,515	420,764	0	0	0	5,548	1,992,211	0	3,596,038
印刷製本費	6,158,816	156,300	285,600	0	1,831,500	0	33,950,277	0	42,391,493
貸	3,695,344	867,928	493,715	0	453,334	53,388	25,201,666	0	30,467,373
主	952,381	0	952,381	0	0	0	16,190,477	0	18,095,239
損害保険料	30,680	86,367	0	0	54,496	0	1,267,350	0	1,435,793
会	1,248,952	0	0	38,096	0	0	1,334,931	0	2,621,979
文	12,477,900	1,453,465	0	800	206,113	108,092	6,758,680	0	21,005,060
ド	0	0	0	0	46,421,734	0	0	0	46,421,734
広	210,000	0	0	0	0	0	15,764,542	0	15,974,542
研	3,556,184	537,387	0	0	44,677	11,830	2,683,015	0	6,833,093
観	5,239,096	0	0	0	2,666,692	0	268,223,598	0	276,128,386
コ	7,047,620	0	0	0	0	0	0	0	7,047,620
業	17,225,724	2,296,116	2,557,696	192,858	95,000	162,773	60,682,007	0	82,602,074
編	1,777,290	247,725	0	0	125,400	87,047	2,291,691	0	4,529,153
仕	0	0	0	0	0	0	5,555,820	0	5,555,820
交	4,507,050	61,802	0	0	0	0	1,047,562	0	2,706,414
報	12,644,286	1,637,671	140,388	0	1,217,315	0	19,584,402	0	35,424,062
経	4,729,148	787,699	0	0	0	6,026	42,229	0	5,565,102

財産目録

平成23年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	合 計
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	794,001,383
現金手許有高	511,366
普通預金	775,041,960
三井住友銀行 渋谷支店	210,052,375
三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	564,989,585
外貨普通預金	5,876,010
三井住友銀行 渋谷支店	5,876,010
振替貯金	12,572,047
東京貯金事務センター	12,572,047
未収入金 (横浜国際女子マラソン放映権料、他)	234,390,937
立替金 (日本選手権競歩能美大会国際配送料、他)	1,385,008
仮払金 (びわ湖毎日マラソン派遣役員日当、他)	22,135,620
貯蔵品 (審判員胸章、他)	3,861,160
貸倒引当金 (未収入金等に対する貸倒引当金)	△ 1,654,096
流動資産合計	1,054,120,012
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
基本財産引当預金	688,785,151
定期預金・三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	688,785,151
基本金引当有価証券	511,214,849
第256回利付国債10年	101,108,000
第237回利付国債10年	100,106,849
茨城県公募公債平成13年度第1回	10,000,000
川崎地方金融公社ユーロ債	100,000,000
東京海上フィナンシャルグループ証券会社	200,000,000
基本財産合計	1,200,000,000
(2) 特定資産	
主催事業等引当預金	102,806,662
定期預金・三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	102,806,662
退職給付引当預金	76,298,810
定期預金・三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	76,298,810
加盟団体法人化引当預金	74,000,000
定期預金・三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	74,000,000
事務所移転等引当預金	250,000,000
定期預金・三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	250,000,000
アジア選手権引当預金	100,000,000
定期預金・三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	100,000,000
特定資産合計	603,105,472
(3) その他固定資産	
建物付属設備 (倉庫内パーテーション移設及び事務所レイアウト変更)	1,420,720
什器備品 (事務局用パソコン、他)	2,915,968
商標権 (商標登録)	775,000
ソフトウェア (会計システムソフトウェア、他)	3,985,350
長期貸付金 (事務局職員に対する住宅融資)	1,881,600
その他固定資産合計	10,978,638
固定資産合計	1,814,084,110
資産合計	2,868,204,122
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金 (3ヶ国ジュニア室内陸上競技大会主管料、他)	79,837,539
預り金 (事務局員給与所得税、他)	1,935,597
仮受金 (競技場公認派遣役員日当交通費、他)	3,270,210
賞与引当金 (平成22年度上期賞与引当金)	8,898,200
未払法人税等 (渋谷税務署、他)	15,000,000
未払事業税 (東京都)	6,000,000
未払消費税等 (渋谷税務署)	4,217,347
流動負債合計	119,158,893
2. 固定負債	
退職給付引当金 (職員に対する退職金に充当する引当)	76,298,810
固定負債合計	76,298,810
負債合計	195,457,703
正味財産	2,672,746,419

監 事 意 見 書

財団法人日本陸上競技連盟の平成22年4月1日から平成23年3月31日迄の平成22年度の下記の財務諸表及び収支計算書について監査したところ、その正確なことを認めます。また、理事の業務執行に関して、特に指摘すべき事項はありません。財産及び会計の状況または業務の遂行について、不整の事実は認識しておりません。

記

1. 一般会計の貸借対照表、正味財産増減計算書及び収支計算書
2. JOC委託事業特別会計の貸借対照表、正味財産増減計算書及び収支計算書
3. スポーツ振興事業特別会計の貸借対照表、正味財産増減計算書及び収支計算書
4. 体協委託事業特別会計の貸借対照表、正味財産増減計算書及び収支計算書
5. スポーツ振興くじ助成金事業特別会計の貸借対照表、正味財産増減計算書及び収支計算書
6. 競技強化支援事業特別会計の貸借対照表、正味財産増減計算書及び収支計算書
7. 収益事業特別会計の貸借対照表、正味財産増減計算書及び収支計算書
8. 貸借対照表総括表、正味財産増減計算書総括表、収支計算書総括表
9. キャッシュ・フロー計算書、財産目録、財務諸表に対する注記


以 上

平成23年 5月19日

財団法人 日本陸上競技連盟

監事 平田 竹男 

監事 前島 伸行 

監事 山田 浩一 

独立監査人の監査報告書

平成23年5月27日

財団法人 日本陸上競技連盟

会長 河野 洋平 殿

上田公認会計士事務所

公認会計士 上田健一郎 

私は、財団法人日本陸上競技連盟の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの平成22年度の下記の財務諸表及び収支計算書(以下「財務諸表等」という。)について監査を行った。

記

I 財務諸表

1. 一般会計及びJOC委託事業、スポーツ振興事業、体協委託事業、スポーツ振興くじ助成金事業、競技強化支援事業助成金、収益事業の各特別会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
2. 貸借対照表総括表
3. 正味財産増減計算書総括表
4. キャッシュ・フロー計算書
5. 財産目録

II 収支計算書

1. 一般会計及びJOC委託事業、スポーツ振興事業、体協委託事業、スポーツ振興くじ助成金事業、競技強化支援事業助成金、収益事業の各特別会計の収支計算書
2. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 私は、財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人日本陸上競技連盟の当該財務諸表に係る期間の財産、正味財産増減及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 私は、収支計算書が、「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に従って、財団法人日本陸上競技連盟の平成22年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

財団法人日本陸上競技連盟と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上